

第1回

豊岡市中学校部活動の在り方検討委員会

令和7年10月3日(金)

豊岡市役所 本庁舎2階 大会議室

豊岡市教育委員会・豊岡市文化・スポーツ振興課

報告事項

国の動向と昨年度の協議について

「地域スポーツ・文化芸術創造と 部活動改革に関する実行会議」 最終とりまとめ

～子供たちの豊かで幅広いスポーツ・文化芸術活動の保障に向けて～

令和7年5月16日

改革の理念

- 急激な少子化が進む中でも、**将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実**するのが改革の主目的。
- 学校単位で部活動として行われてきたスポーツ・文化芸術活動を、**地域全体で関係者が連携して支え、生徒の豊かで幅広い活動機会を保障**。

地域クラブ活動の在り方

●学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、新たな価値を創出することが重要。

(例)・生徒のニーズに応じた多種多様な体験

・生徒の個性・得意分野等の尊重

・学校等の垣根を越えた仲間とのつながり創出

・地域の様々な人や幅広い世代との豊かな交流

●民間のクラブチーム等との区別や質の担保等の観点から、国として、地域クラブ活動の定義・要件や認定方法等を示した上で、地方公共団体において認定を行う仕組みを構築していく必要。

地域全体で連携して行う取組の名称

「**地域移行**」の名称を「**地域展開**」に変更

【コンセプト】

- ① 学校内で運営されてきた活動を広く地域に開き、地域全体で支えていく。
- ② 新たな価値を創出し、より豊かで幅広い活動を可能とする。

- 休日については、次期改革期間内に、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す。
- 平日については、各種課題を解決しつつ更なる改革を推進。まずは、国において、地方公共団体が実現可能な活動の在り方や課題への対応策の検証等を行うとともに、地方公共団体において地域の実情等に応じた取組を進める。

次期改革期間

(令和5年度～令和7年度までは改革推進期間)

「改革実行期間」

前期: 令和8～10年度(3年間)



原則すべての学校で、
休日の部活動を地域で行うことを目指す

中間評価

前期の活動、課題、対応策等の検証。改めて取組方針を定め、改革推進。



・平日は、課題を解決しつつ更なる改革を推進。平日・休日を通じた活動を包括的に企画・調整しつつ、地域の実情等に応じた取組を実施。

後期: 令和11～13年度(3年間)

費用負担の在り方等

- 安定的・継続的に取組めるよう、**受益者負担と公的負担とのバランス等の費用負担の在り方等**を検討する必要。
(公的負担については**国・都道府県・市区町村**で支え合うことが重要)。
- 受益者負担の水準については、**国において金額の目安等**を示すことを検討する必要。
- 企業版ふるさと納税やガバメントクラウドファンディングをはじめとした寄附等の活用等、**新たな財源の確保**も有効に組み合わせていくことが重要。
- 家庭の経済格差が生徒の体験格差につながるものがないよう、**経済的に困窮する世帯の生徒への支援**については確実に措置を行う必要。
- **部活動指導員の配置**について、**次期改革期間においても一定の範囲で支援**を行っていく必要。

地方公共団体における推進体制の整備

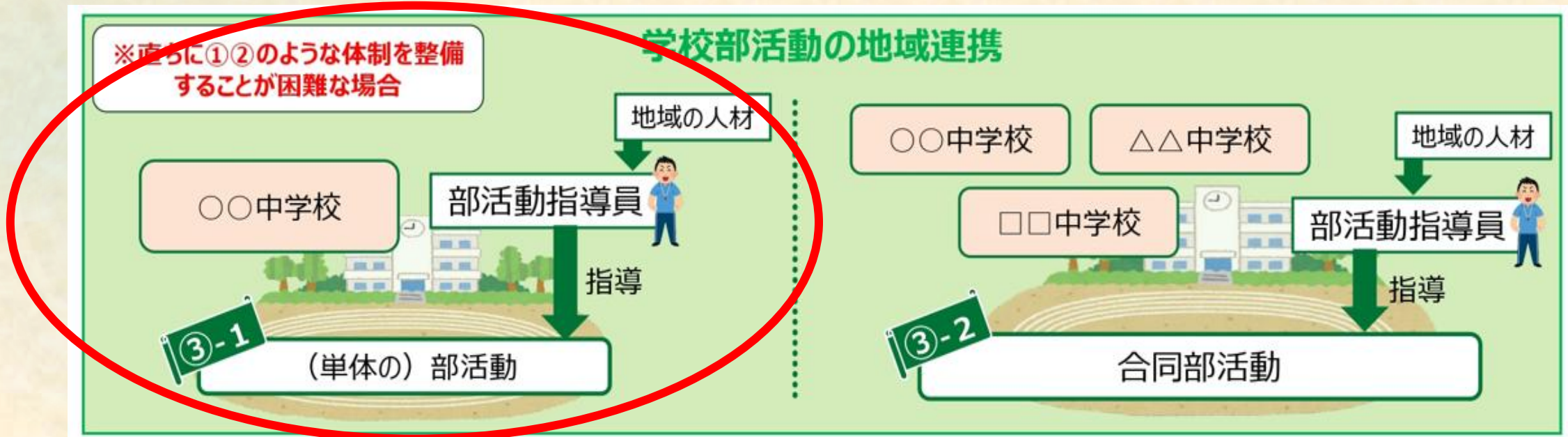
- 専門部署の設置や総括コーディネーターの配置等、適切な推進体制を整備することが重要。
- 改革を円滑に進めるためには、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、体育・スポーツ協会、競技団体、文化芸術団体、文化協会、社会教育施設、民間事業者、大学、中学校体育連盟、中学校文化連盟、スポーツ推進委員等と適切に役割分担を行い、幅広い関係者が連携・協働しながら一体となって取組を進める必要。
- 都道府県が広域自治体としてリーダーシップを発揮し、市区町村に対して必要な支援をきめ細かく行うことも重要。
- 一つの市区町村における対応が困難な場合には、複数の市区町村による広域連携の取組を進めることも重要。

学習指導要領における取扱い

- **地域クラブ活動**は、学校外の活動ではあるものの、**教育的意義を有する活動**。
- 学校を含めた地域全体で生徒の望ましい成長を保障するために、**地域クラブと学校との連携が大切**。
- 今後、**休日**を中心に、地域クラブ活動が広く普及・定着していることが見込まれる。
- 一方、当面は、**平日**を中心に学校部活動が存続する学校も一定程度ある想定。
- 指導体制については、地域展開が原則となる休日だけでなく、地域連携も含めて取組が進められる平日についても、地域クラブの指導者又は部活動指導員が指導を担う体制を普及させていくことが重要。
- これらを踏まえ、**学習指導要領の次期改訂**においては、**地域クラブ活動の普及・定着を前提とした記載**としつつ、地域展開が困難な場合等に実施される**学校部活動**に関しても**教職員等の負担軽減の視点から一定の記載**を行うことが考えられる。

豊岡市の取組としては…

- 学校部活動の地域移行（地域展開）は、地域連携の取組みから進めてきた。
- そのために人材バンクを立ち上げ、部活動指導員を公募し、各中学校への配置を進めてきた。



	地域連携	地域移行(展開)
活動状況	学校部活動 (学校管理下)	地域クラブ活動 (学校管理外)
指導者	教員、部活動指導員	地域の指導者
教員の指導	教員として	兼職兼業願を出して 地域指導者として
活動場所	学校施設中心	学校・公共施設等(利用願)
参加費	部 費	参加費、月謝
保険	スポーツ振興共済対象 (学校管理下での対応)	保険加入
中体連主催大会	学校単位か合同の部活動	中体連に申請
上記以外の大会	登録・申請	登録・申請

	令和5年度 4月～9月	令和5年度 10月～3月	令和6年度 4月～9月	令和6年度 10月～3月	令和7年度 4月～9月	令和7年度 10月～3月	令和8年度 4月～9月	
	休日における学校部活動の 地域連携・地域移行について検討		人材バンクからの部活動指導員の配置 休日における地域連携の活性化		休日における地域移行の模索		平日における地域連 携・地域移行につい て検討	
文化・教育委員 会 スポーツ振興課	部活動の在り方 検討委員会 (第1回) ・情報共有 ・課題収集	部活動の在り方 検討委員会 (第2～4回) ・課題収集 ・改善に向けた 協議 ・方針決定	部活動の在り方 検討委員会 (7月) ・部活動指導員 の配置、活動 状況等	部活動の在り方 検討委員会 (12月～2月) ・地域連携、地 域移行の方向 性、進捗状況	部活動の在り方 検討委員会 ・部活動指導員 の配置、活動 状況等	部活動の在り方 検討委員会 ・地域連携、地 域移行の方向 性、進捗状況	部活動の在り方 検討委員会 ・地域移行の 方向性等	
	部活動指導員 人材バンク 立ち上げ準備		部活動指導員人材バンクの運営					
			研修会・講習会の準備・推進					
			地域移行に向けた関係団体への説明、働きかけ					
			実証事業の準備・推進					
学校	生徒 アンケート	部活動指導員 配置の検討		部活動指導員 配置の効果及び 次年度に向けた 検証		部活動指導員 配置の効果及び 次年度に向けた 検証		
関係団体			部活動指導員人材バンクの周知、協力					
					受入れ団体 調査		実証事業実施	

「地域連携」を推進し、「地域展開」を実現するために

- ① 部活動指導員を増やす(人材バンクの充実)
- ② 部活動指導員の研修
- ③ 地域クラブ活動に向けた実証事業

将来的には

「地域移行・地域連携ハイブリッド型」
で進めていくことになる。

(令和6年度 第2回豊岡市部活動のあり方検討委員会議事録より)

協議事項

- (1) 今年度の取組状況と
学校部活動の現状について

令和7年度 中学校部活動指導員 人材バンク登録者(9月1日現在)

	種 目	登録人数等	配置 人数	配置校数 (配置校)
1	陸上競技	4名(男3・女1)	3名	3校(城崎・豊岡北・豊岡南)
2	卓球	5名(男3・女2)	0名	0校
3	バレーボール	2名(男2)	1名	1校(城崎)
4	バスケットボール	2名(男1・女1)	1名	1校(豊岡南)
5	サッカー	3名(男3)	3名	2校(豊岡北・豊岡南)
6	剣道	3名(男2・女1)	2名	2校(豊岡北・但東)
7	ボート	4名(男4)	4名	1校(城崎)
8	野球	2名(男2)	1名	1校(豊岡南)
9	合唱	2名(男1・女1)	1名	1校(豊岡南)
10	吹奏楽	7名(男1・女5)	7名	5校(豊岡南・豊岡北・竹野・日高西・但東)
11	美術	1名(男1)	0名	0校
	合 計	35名(前年比+10)	23名	(前年比+4名)

部活動指導員への研修

(動画研修の受講⇒振り返りレポートの提出を義務付け)

(1) スクール・コンプライアンスについて

独立行政法人教職員支援機構

基本スキル編「スクール・コンプライアンス」

基礎的研修シリーズ No.4(12分)

- <内容>
- ・学校教育に関する法令
 - ・体罰と懲戒処分
 - ・学校職員の義務と禁止事項
 - ・いじめ防止対策推進法
 - ・個人情報保護法と著作権法 など

(2) 保護者との関係づくり

独立行政法人教職員支援機構

コーチングのスキルと活用Ⅳ

～円滑な保護者対応に生かす～

:校内研修シリーズ No.163(23分)

- <内容>
- ・共通のゴールを意識する
 - ・保護者対応のポイント
 - ・コーチングスキルを保護者対応に活かす
 - ・伝わる対話のポイント

(3) 熱中症対策について

日本スポーツ振興センター

「熱中症を予防しよう」(11分)

- <内容>
- ・熱中症の発生件数と時期
 - ・熱中症の発生メカニズムと危険度
 - ・意識障害のある場合の対処法
 - ・意識障害がない場合の対処法
 - ・熱中症予防の5つの原則
 - ・実践例紹介

受講後の振り返りレポートから

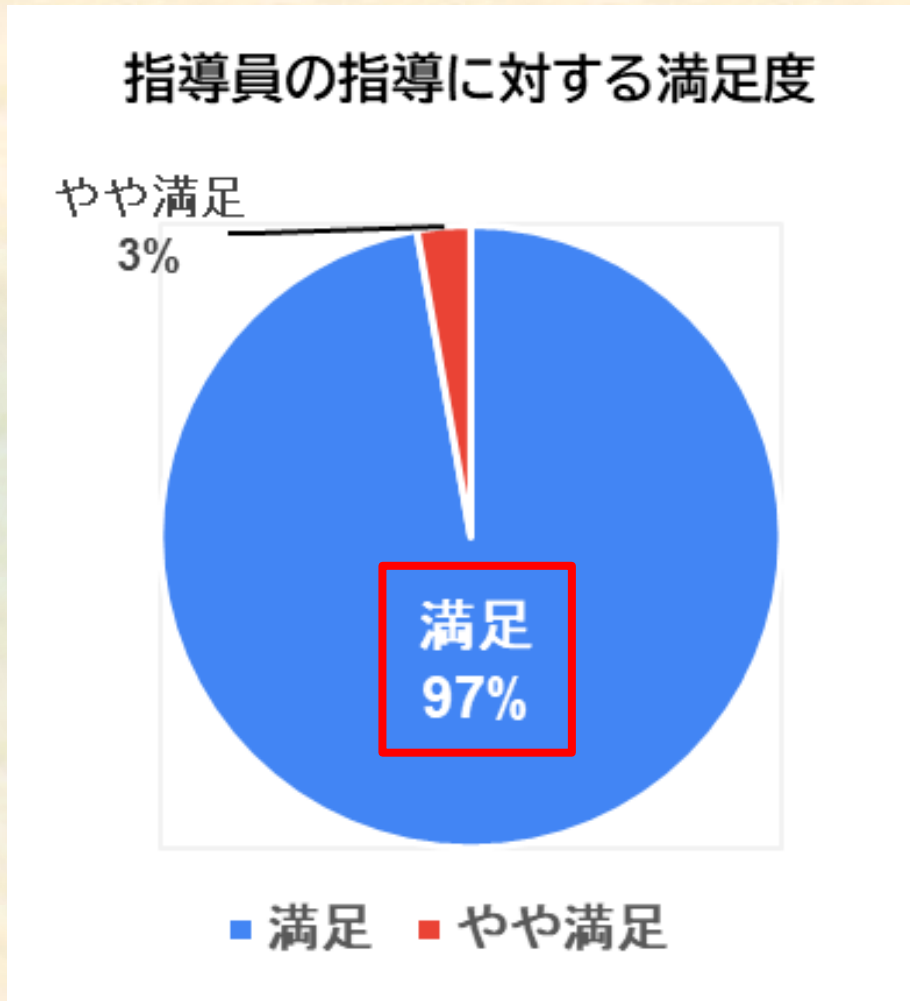
動画研修を受講して、ルールを守る意識を高くすることが大切であること。相手を尊重する接遇力と「聴く」「認める」「質問する」が対話の伝え方のポイントであること。熱中症予防に5つの原則があり、休憩のとり方や水で冷やす応急救護の方法が参考になりました。今後の部活動指導に活かせると感じました。

研修内容については、具体的な事例が多く紹介されていて大変参考になりました。

(20代男性、部活動指導員)

部活動指導員配置の効果

①生徒アンケートより(36名回答)

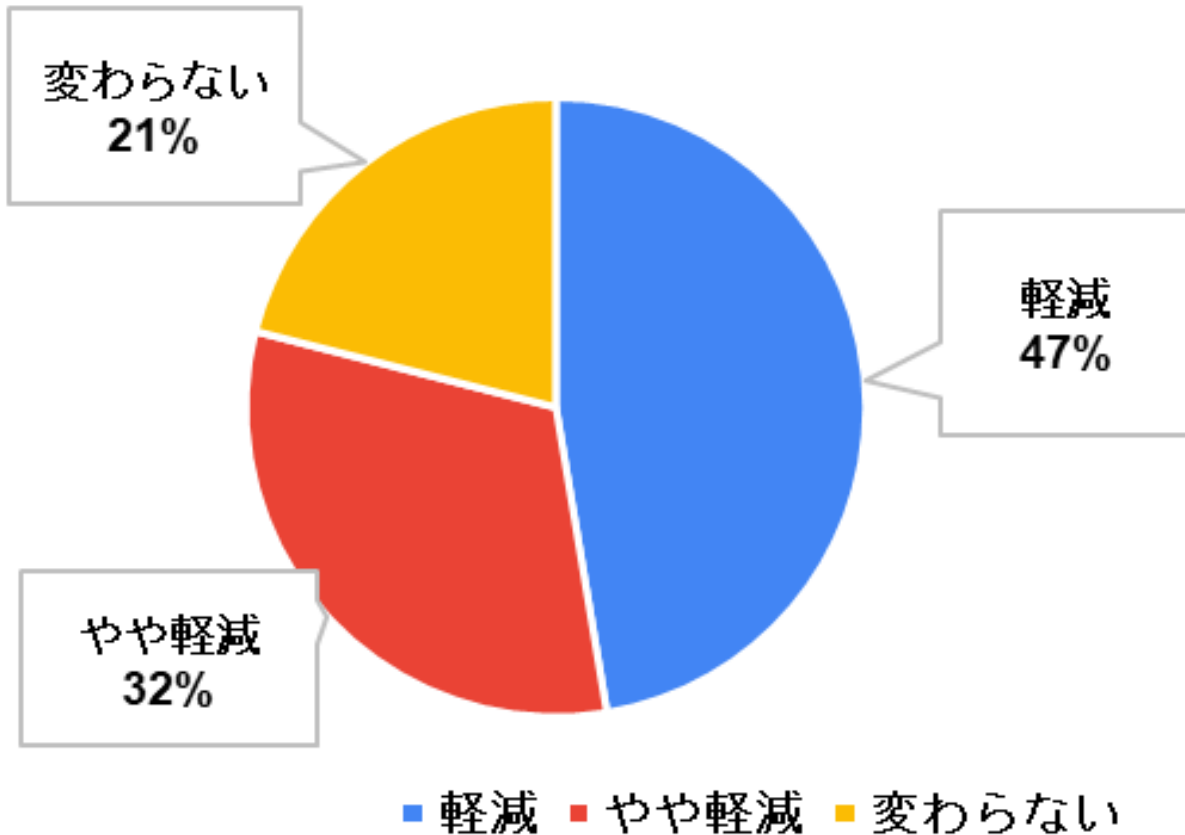


- 先生とはまた違った立場なので話しやすいです。
- いろんなメニューを考えてくれたりわかりやすく教えてくれる。
- 先生がいないときでも部活ができる。
- しっかり丁寧に教えてくれる。
- 練習の質が変わった。レベルの高いことをするようになった。
- 先生とは違う視点で指摘をしてくれること。
- 三年生がいる頃、先生二人は一年生に教える余裕がなさそうだったけど、部活動指導員に教えてもらえた。

部活動指導員配置の効果

② 教員アンケートより(19名回答)

指導員配置による業務負担の変化



- 専門性の高い指導を生徒に受けさせてやれた。
- 会議や出張等で不在の場合も活動できる。
- 他の業務(採点、校務分掌、教科準備等)にあてられる時間ができた。
- 技量の異なる選手たちが集まっているので、それぞれのレベルに合わせて、選手を振り分けて、複数的人数で指導できる。
- 専門的な指導が受けられ、上達している実感がある。
- 部活に行けない時に休みが取りやすい。
- 他校にも指導に行っておられる方なので、調整が難しい。

部活動指導員配置の効果

③部活動指導員アンケートより(17名回答)

【良かったこと】・【困ったこと】

- 大会で選手が成績を残した際に、選手と一緒に喜びを感じられた。
- 生徒と関わりがもて、自分自身も成長させてくれる。
- 子どもたちの成長、笑顔が見られること。
- 生徒の日々の成長も一年の成長も実感出来ること。
- 自分の仕事が地域の子供達の役に立つこと。
- 世代の違う先生方とも一緒に協力して活動出来ること。
- 手当が目的ではありませんが、指導員の手当の予算が少ないこと。
- 部活動の時間が学校行事や季節など、様々な事情で一定ではないので、本来の自身の仕事との時間調整が難しいこと。
- 部活動時以外の移動などのときのトラブルや事故への対応
- 1人1人個性があるので、なかなか見極めたり対応するのが大変です。
- 活動上での生徒のつまづきに、自分は適切に対応できているのかという点が不安になります。助力の不足・過剰になっていないかや、タイミングは適当か、など悩みます。

③部活動指導員アンケートより(17名回答)

25

部活動の地域展開に対する思いや考えは？

- ボート部は城崎にしか部がないが、今後はさらに展開して城崎以外の地域からの部員、選手が参加してもらえるようにしたい。
- 私自身、出身中学校にサッカー部がなかったことから、やりたくても気軽に出来ない思いを経験しているため、そうした生徒が減るのではないかと感じる。
- 地域展開についてはいいと思うが、指導員が一つの部活に対して複数人いることが条件だと思います。最低4人から5人。1人だと負担が大きいと思います。
- 強い言葉にはなりますが、生徒を被害者にしてはいけないと思う。都会や、他の地域をそのまま真似てやるのは、不可能に近いと思うし、豊岡オリジナルのシステム構築が必要となると感じています。色々なカテゴリーで、夢についての授業を展開していただいている中で、移行によって、その夢や目標さえ持てなくなってしまうような状況は、避けていただきたいと思います。
- 自分が好きなことに携われているというのが一番やりがいを感じている一方、仕事の合間をぬって部活動を見てますが正直なところものすごく大変です。私の例でいくと朝仕事に行き、休憩時間に部活動、夕方から夜まで仕事という日々を送ってます。みんな仕事しながら指導員をしてると思いますが今のままでは完全に地域移行というのは厳しいと思います。

中学校部活動 部員数等調査

令和7年8月1日現在（1・2年生のみ）

	学校名	豊岡南中		豊岡北中		港中		城崎中		竹野学園		日高東中		日高西中		出石中		但東中		合計		備考（合同チーム・廃部 等）	
		部活動名	部員数	1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年		
運動部	1	軟式野球	13	11	4	10			3	7	3	4	4	10	2	7	6	7	1	4	36	60	合同（城崎・日高西）（竹野学園・但東）
	2	サッカー	17	9	6	10															23	19	
	3	陸上競技	18	13	25	13							20	18			14	12			77	56	
	4	ソフトテニス	男子	18	20	12	12	7	6				13	9			5	6			55	53	
	5		女子	13	14	14	13						4	11			9	7			40	45	
	6	バスケットボール	男子	9	7	3	8				2	5	11	8			8	0			33	28	
	7		女子	7	9	4	8			4	2						3	7			18	26	
	8	バレーボール	男子			7	5						13	2							20	7	
	9		女子	5	8	2	8	3	1	4	2		6	5	5	5	8	1	2	3	26	42	合同（港・出石・但東） 出石R8廃部
	10	卓球	男子	10	7	7	3								5	5	7	1	6	5	35	21	
	11		女子	5	9	9	7									4	5	2	0	1	4	21	25
	12	ソフトボール	女子			0	4						5	12							5	16	合同（豊岡北・夢が丘）
	13	剣道	男子	5	2	2	3				4	5	0	4	3	4			2	2	16	20	
	13		女子	7	1	1	4					0	0	1	4	0	0			2		11	9
14	ボート	男子						7	6											7	6		
運動部数			11		13		2		4		4		9		5		9		5		62		
運動部生徒数			127	110	96	108	10	7	18	17	9	20	76	83	19	29	54	41	14	18	423	433	
運動部加入率			66%	66%	70%	71%	59%	54%	69%	74%	45%	63%	70%	69%	66%	69%	69%	51%	54%	78%	67%	66%	

	学校名	豊岡南中		豊岡北中		港中		城崎中		竹野学園		日高東中		日高西中		出石中		但東中		合計		備考（合同チーム・廃部 等）	
		部活動名	部員数	1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年		
文化部	1	吹奏楽	29	9	17	13	6	6	4	4	6	6	8	7	9	11	15	21			94	77	
	2	合唱	4	8																	4	8	
	3	音楽																	7	4	7	4	
	4	家庭科	3	2	7	11															10	13	
	5	美術	6	5	2	4							7	6			4	6			19	21	
	6	科学	2	9																	2	9	
	7	広報情報			5	1															5	1	
	8	生活活動											4	16							4	16	
	9	コンピュータ															0	1			0	1	
文化部数			5		4		1		1		1		3		1		3		1		20		
文化部生徒数			44	33	31	29	6	6	4	4	6	6	19	29	9	11	19	28	7	4	145	150	
文化部加入率			23%	20%	22%	19%	35%	46%	15%	17%	30%	19%	18%	24%	31%	26%	24%	35%	27%	17%	23%	23%	

全部活動加入率	90%	86%	92%	90%	94%	100%	85%	91%	75%	81%	88%	93%	97%	95%	94%	86%	81%	96%	90%	89%		
生徒数	191	167	138	153	17	13	26	23	20	32	108	121	29	42	78	80	26	23	633	654		

中学校の校長先生方の声

(8/27 中学校長会との情報交換会より)

- 今後、地域展開が進み、学校から部活動が無くなると、**何もしない生徒**が増加しないか心配である。
- 現行の種目以外にも、**多様な文化芸術活動等の受け皿**を作り、**選択肢を広げて子どもたちの居場所を確保**する必要がある。(例えば、囲碁・将棋・料理……)
- 合同部活動**や**拠点校方式**から地域展開を進めることは良いが、**移動の確保**が課題である。

協議事項

(2) 今後の方向性について

豊岡市部活動の地域連携・地域展開計画（案）

2025.10.03

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
	休日における学校部活動の地域連携・地域移行について検討	人材バンクからの部活動指導員の配置 休日における地域連携の活性化	休日における地域移行の模索 先行実施クラブ(モデル)の準備	休日の地域展開の模索 モデル事業(先行実施)の推進、評価・検証 運営組織・団体の整備 地域クラブ募集・審査・登録	モデル事業(先行実施)の拡大・評価・検証 休日の地域展開促進 平日の連携・展開検討 地域クラブ募集・審査・登録	休日の学校部活動の原則終了 休日の地域展開推進 平日の地域連携・地域展開の検討、推進	
文化・教育委員 スポーツ振興課	部活動の在り方検討委員会(第1～4回) ○情報共有 ○課題収集 ○改善に向けた協議 ○方針決定	部活動の在り方検討委員会(第1～2回) ○部活動指導員の配置、活動状況等 ○地域連携、地域移行の方向性、進捗状況	部活動の在り方検討委員会(第1～2回) ○部活動指導員の配置、活動状況等 ○地域連携、地域展開の方向性、進捗状況 ○モデル事業(先行実施)・合同部活動の検討	部活動の在り方検討委員会 ○地域展開の方向性 ○運営組織団体の整備 ○モデル事業(先行実施)の状況、評価等 ○合同部活動、拠点校方式の推進、検証	部活動の在り方検討委員会 ○地域展開の方向性 ○モデル事業の拡大推進、検証、課題の洗出し等 ○合同部活動、拠点校方式の推進、検証	部活動の在り方検討委員会 ○地域展開の方向性 ○課題への対応策等 ○休日の地域展開 ○平日の地域展開の検討	
	部活動指導員人材バンク ・立ち上げ準備 ・公募開始	部活動指導員人材バンクの運営					
		研修会・講習会の準備・推進					
		地域展開に向けた関係団体への説明、働きかけ					
			モデル事業の準備	モデル事業(先行実施)推進・評価・検証、課題の洗出し、事業拡大			
学校	生徒アンケート 部活動指導員配置の検討	部活動指導員配置の効果及び次年度に向けた検証	人材バンク・部活動指導員の配置推進、効果検証				
			モデル事業(先行実施)地域クラブ活動の準備・活動推進・事業拡大への協力				
			休日の地域展開へ向けての準備・平日の検討				
			合同部活動・拠点校方式の検討、準備、実施				
関係団体		部活動指導員人材バンクの周知・協力					
			受入れ団体調査	モデル事業(先行実施)の推進・評価・検証、事業の拡大			
				休日の地域展開への協力			

全市展開に向けたモデル事業(先行実施)

<取組内容>

- 関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
- 指導者の質の保障・量の確保
- 関係団体・分野との連携強化
- 面的・広域的な取組
- 内容の充実
- 参加費用負担の支援等
- 学校施設の活用等

令和8年度 モデル事業(実証事業) 先行実施地域クラブ活動について

(国の部活動の地域展開・地域クラブ活動推進事業の補助金を活用?)

- ① **3団体**の地域クラブ化を想定
- ② 関係団体との調整中
 - ・ボート(城崎中)
 - ・サッカー(豊岡南中・豊岡北中)
 - ・地域から(現行の部活動にない種目)

令和8年度

合同部活動・拠点校方式の導入へ向けて

- ① 少子化への緊急対応
 - ・廃部、募集停止による選択肢の減少を防ぐ
- ② 教職員の負担軽減
 - ・単独引率が可能
- ③ 部活動指導員の活用を推進
 - ・地域展開に向けての一步に



拠点校



A 中学校
柔道

B 中学校
吹奏楽

C 中学校
バレーボール

市町組合教育委員会

合同部活動



D & E 中学校
吹奏楽

F & G 中学校
バレーボール

形態

- 市町組合教育委員会が任用した部活動指導員を各校に配置する
- 各市町組合教育委員会が主導し、各種目を拠点校・合同部活動に指定

メリット

- 既存体制で実施できる
- 学校管理下であり、保護者からの信頼もある
- 単独引率が可能なため、教職員の負担軽減に繋がる
- 合同部活動や拠点校制にも配置が可能

課題

- 部活動指導員となる指導者の確保が難しい
- すべてのクラブに対して、部活動指導員の予算確保が困難